

教育センター学びの丘研修員研修の概要について

和歌山県教育センター学びの丘が実施する研修員研修は、研修員が教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み、教師としての資質・能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的としている。

今日、社会は「VUCA」と呼ばれる時代を迎え、AIの台頭を含む急速な技術革新が進むとともに、教育の状況や子どもたちを取り巻く環境も劇的に変化し続け多様化している。このような時代において、教師は子どもたちと共に「学びの共同設計者」として歩み、「変革の担い手」となることが求められている。また、子どもたちの主体的な学びやウェルビーイングを支えるために、「常に学び続ける専門家＝進化し続ける存在」として自身の矜持を再確認し、専門職としての倫理的誠実さと尊厳を絶えず更新することが期待されている。

これらを踏まえ、研修員研修を「自らの課題や所属校における課題の解決を目指して取り組む研究と、その土台の部分となる様々な知識・技能を幅広く身に付けていく修養の機会（下図参照）」とし、教育センター等が実施する多岐にわたる研修講座の受講や模擬授業の実施、所属校における校内研修の機会を通して実践と理論を往還させながら、教師としての資質・能力の向上に取り組んできた。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間を通して行った研究については、「研究報告書」として研修員研究集録に掲載する。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での研究に向けた計画の立案、模擬授業の実施等	・研究計画について第2回報告会で発表 ・研究の実践等	・研究実践で収集したデータ分析等 ・教育センター学びの丘研究報告会で発表	・研究報告書、資料の作成
所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」					
修養	・教員としての資質の向上に関する指標に基づくトレーニング（「学習指導」「生徒指導力」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ICTや情報・教育データの利活用」「教職に必要な素養」） <input type="checkbox"/> 専門性の向上を目指す研修等受講 <input type="checkbox"/> 教職経験年数に対応した研修等聴講 <input type="checkbox"/> 学びの丘指導主事による研修員研修等受講				

図 研修の概要

令和8年3月

和歌山県教育センター学びの丘
研究開発課